

高等学校 令和7年度（3学年用）

教科 国語

科目 文学国語

教科：国語

科目：文学国語

単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組

教科担当者：（1組：佐藤）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）

使用教科書：（新編 文学国語（大修館書店））

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について，その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め，思考力や想像力を伸ばす。

言葉のもつ価値への認識を深めるとともに，言語感覚を磨き，我が国の言語文化の担い手としての自覚をも

【学びに向かう力、人間性等】ち，生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 文学国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに，創造的に考える力を養い，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	・具体例をもとに、筆者のメッセージを読み取る。 ・文体の特徴や表現に注目し、その効果を考える。	「飛ぶことを知っている魂」		○	○	【知識・技能】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。〔(1)ア〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。〔B(1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・文体の特徴や表現に注目しながら本文を読み味わい、筆者のメッセージを読み取ろうとしている。	○	○	○	5
	・筆者の家族観や、家族間の心情の機微を読み取る。 ・文体の特徴や比喩の効果について考える。	「クルミの小部屋」		○	○	【知識・技能】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。〔(1)ア〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。〔B(1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習の見通しをもって、随想を批評する活動を通して、言葉には想像や心情を豊かにする働きがあることを理解することに向けて、粘り強く自らの学習を調整しようとしている。	○	○	○	5
	定期考査						○	○		1
	・登場人物の視点や表現の特色に注目し、その働きを意識しながら読む。 ・登場人物の考え方をとらえ、自分の考えと比較しながら自分の考えを広げる。	「待合室」		○	○	【知識・技能】 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。〔B(1)イ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、登場人物の視点や表現の特色に注目しながら内容を読み取ろうとしている。	○	○	○	6
	・登場人物の考え方や生き方について、時代背景をふまえて考える。 ・特徴的な表現に注意しながら作品を読み味わう。	「おぼろ月」		○	○	【知識・技能】 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。〔B(1)イ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、登場人物の視点や表現の特色に注目しながら内容を読み取ろうとしている。	○	○	○	2
	・登場人物の設定や描写の仕方をとらえ、読みを深める。	「桐壺」		○	○	【知識・技能】 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。〔(2)ア〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。〔B(1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、自分と比較しながら作者の感性を捉えようとしている。	○	○	○	3
	定期考査						○	○		1
	・筆者の考える夏の月の良さをとらえる。 ・引用された作品を読み、解釈を深める。	「夏の月」		○	○	【知識・技能】 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。〔(2)ア〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。〔B(1)カ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習の見通しを持ち、作品を解釈する活動を通して、自然に対するものの見方や感じ方、考え方を深めることに向けて、粘り強く取り組んでいる。	○	○	○	3
	・筆者の考える、短歌が人を感動させるための方法を読み取る。 ・引用された作品を読み、筆者の主張を確かめる。	「共感と驚異」		○	○	【知識・技能】 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。〔(2)ア〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。〔B(1)カ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習の見通しをもち、短歌の分析をすることを通して、作品の内容や解釈を踏まえ、進んで、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める中で、自らの学習を調整しようとしている。	○	○	○	3
	・登場する生き物たちの性格や心理を読み取る。 ・話のおもしろさと、そこに込められた寓意を読み味わう。	「山椒魚」		○	○	【知識・技能】 ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。〔(1)ウ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。〔B(1)エ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、話のおもしろさや、そこに込められた寓意を読み味わおうとしている。	○	○	○	6

2 学 期	定期考査							○	○		1
	・登場人物の描写から、場面ごとの心情の変化を読み取る。 ・作品の状況設定を的確にとらえ、寓意性を読み取る。	「離さない」			○	○	【知識・技能】 ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。〔(1)ウ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。〔B(1)エ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、登場人物の心情の変化を読み取ることを通して、この作品の寓意性を読み取ろうとしている。	○	○	○	3
	・能登殿の描かれ方をとらえ、読みを深める。	「能登殿最期」			○	○	【知識・技能】 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。〔(2)ア〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。〔B(1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、自分と比較しながら作者の感性を捉えようとしている。	○	○	○	3
	・漢文の表現に着目し、項王の心情を読み取る。	「四面楚歌」			○	○	【知識・技能】 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。〔(2)ア〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。〔B(1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・漢文の表現に興味をもち、登場人物の心情を読み味わおうとしている。	○	○	○	3
	定期考査							○	○		1
3 学 期	・登場人物の生き方から、自分自身の生き方に関する考えを深める。 ・優れた表現に触れ、読み味わう。	「こころ」			○	○	【知識・技能】 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。〔(2)ア〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。〔B(1)カ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、登場人物の生き方から自分自身の生き方に関する考えを深めようとしている。	○	○	○	8
	定期考査							○	○		1

高等学校 令和7年度（3学年用）

国語

科目 国語表現

教科 国語

科目 国語表現

単位数 2 単位

対象学年組 第 3 学年 1 組～ 1 組

教科担当者（1 組：佐藤（組：金綱）（組：）（組：）（組：）（組：）

使用教科書（大修館書店「国語表現」国表701）

教科 国語

の目標

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 国語表現

の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・経験から得たことや学んだこと、自分の長所などを考える。 ・他者の意見を聞いて、自分の長所を見つける。	レッスン1 自分を見つめて	【知識・技能】 知識・技能に関する問いに関して答えることができる。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現を駆使して成果物や発表ができて いる。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組	○	○	○	2
	・自分の特長を端的に表現し、印象に残る自己PRの原稿を書く。 ・事実やできごとをふまえて、効果的な自己PRをする。	レッスン2 効果的な自己PR	【知識・技能】 知識・技能に関する問いに関して答えることができる。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現を駆使して成果物や発表ができて いる。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組	○	○	○	2
	・就きたい職業に就くために必要なことを、適切な方法で調べる。 ・調べたことをふまえて、「将来の自分」について文章にまとめる。	レッスン3 将来の自分を考えよう	【知識・技能】 知識・技能に関する問いに関して答えることができる。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現を駆使して成果物や発表ができて いる。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組	○	○	○	2
	・志望先についての情報を適切な方法で集める。 ・調べたこと、やりたいこと、自己PRの三つを結びつけて、説得力のある志望理由を書く。	レッスン4 志望理由を書こう	【知識・技能】 知識・技能に関する問いに関して答えることができる。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現を駆使して成果物や発表ができて いる。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組	○	○	○	4
	・志望先に提出する書類に求められていることを適切に理解する。 ・具体的で要素の関連性を重視した書類を書く。 ・適切な言葉遣いで書類を書く。	レッスン5 自己推薦書や学修計画書を書く	【知識・技能】 知識・技能に関する問いに関して答えることができる。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現を駆使して成果物や発表ができて いる。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組	○	○	○	5
	・適切な言葉遣いや態度で面接の受け答えをする。 ・質問に対して、具体的で説得力のある答え方で答える。	レッスン6 面接にチャレンジ	【知識・技能】 知識・技能に関する問いに関して答えることができる。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現を駆使して成果物や発表ができて いる。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組	○	○	○	1
	・グループディスカッションのねらいを理解する。 ・積極的に話し合いに参加し、話し合いに貢献している。 ・ほかの人の話をよく聞き、その趣旨や価値を理解している。	レッスン7 グループディスカッションをしよう	【知識・技能】 知識・技能に関する問いに関して答えることができる。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現を駆使して成果物や発表ができて いる。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組	○	○	○	1
	・志望先に提出する書類として、適切な表記・表現を用いる。 ・面接の際の適切な言葉遣いや応答のしかたを考える。	■実践トレーニング②	【知識・技能】 知識・技能に関する問いに関して答えることができる。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現を駆使して成果物や発表ができて いる。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組	○	○	○	2
	・小論文の演習を通じて書く力を高める。	小論文徹底演習シート	【知識・技能】 知識・技能に関する問いに関して答えることができる。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現を駆使して成果物や発表ができて いる。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組	○	○	○	2

2 学 期	・さまざまな通信文の形式を理解する。 ・相手や目的に応じて適切な形式を選び、通信文を書く。	レッスン1 通信文を書き分ける	【知識・技能】 知識・技能に関する問いに関して答えることができる。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現を駆使して成果物や発表ができて いる。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組	○	○	○	4
	・初対面や目上の相手に対する電話での話し方を理解する。 ・相手に応じた適切な言葉遣いや応答のしかたを理解する。	レッスン2 電話を使いこなす	【知識・技能】 知識・技能に関する問いに関して答えることができる。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現を駆使して成果物や発表ができて いる。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組	○	○	○	2
	・電子メールを活用する上でのエチケットを理解する。	レッスン3 電子メールを活用しよう	【知識・技能】 知識・技能に関する問いに関して答えることができる。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現を駆使して成果物や発表ができて いる。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組	○	○	○	2
	・ネットを用いたコミュニケーションの特長と使用する上での留意点を理解する。	レッスン4 ネット社会との付き合い方	【知識・技能】 知識・技能に関する問いに関して答えることができる。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現を駆使して成果物や発表ができて いる。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組	○	○	○	4
	・インターネットでの情報の検索のしかたと、その注意点について理解する。	レッスン5 ネットを活用した情報収集	【知識・技能】 知識・技能に関する問いに関して答えることができる。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現を駆使して成果物や発表ができて いる。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組	○	○	○	4
	・情報が編集されていることを理解する。 ・メディアごとに立場や条件が異なり、情報の伝え方が異なることを理解する。	レッスン6 メディアと情報	【知識・技能】 知識・技能に関する問いに関して答えることができる。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現を駆使して成果物や発表ができて いる。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組	○	○	○	4
	・場面にふさわしい言葉遣いを考える。 ・適切な言葉遣いでロールプレイをする。	レッスン1 相手や場面に応じた会話	【知識・技能】 知識・技能に関する問いに関して答えることができる。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現を駆使して成果物や発表ができて いる。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組	○	○	○	2
	・話し合いのステップを意識しながら話し合いに参加し、建設な議論になるように協力し合う。 ・話し合いに積極的に参加し、結論を出すために貢献する。	レッスン2 建設的な議論の進め方	【知識・技能】 知識・技能に関する問いに関して答えることができる。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現を駆使して成果物や発表ができて いる。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組	○	○	○	4
	・話すことの順序を考えて、わかりやすいショートスピーチをする。 ・話し手が話しやすい聞き方をする。	レッスン3 スピーチをしよう	【知識・技能】 知識・技能に関する問いに関して答えることができる。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現を駆使して成果物や発表ができて いる。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組	○	○	○	4
	・プレゼンテーションのテーマに合わせて、資料の準備や発表の準備を行う。 ・聞き手の興味を引くような工夫をして、わかりやすく発表する。	レッスン4 プレゼンテーションの工夫	【知識・技能】 知識・技能に関する問いに関して答えることができる。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現を駆使して成果物や発表ができて いる。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組	○	○	○	6
3 学 期	・小論文の演習を通じて書く力を高める。	小論文徹底演習シート	【知識・技能】 知識・技能に関する問いに関して答えることができる。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現を駆使して成果物や発表ができて いる。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組	○	○	○	12
	・読み手の心を動かすことができるような効果的なキャッチコピーを書く。 ・伝えたいことが効果的に伝わるよう、レイアウトやデザインを工夫してポスターを作る。	4 魅力的なポスターを作ろう	【知識・技能】 知識・技能に関する問いに関して答えることができる。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現を駆使して成果物や発表ができて いる。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組	○	○	○	4
	・読み手を意識し、伝えたいことをわかりやすく書く。 ・調べたことを効果的に伝えるために、内容の構成や冊子の体裁を工夫する。	5 「わが町自慢」のパンフレット作り	【知識・技能】 知識・技能に関する問いに関して答えることができる。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現を駆使して成果物や発表ができて いる。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組	○	○	○	4
	・小論文の演習を通じて書く力を高める。	小論文徹底演習シート	【知識・技能】 知識・技能に関する問いに関して答えることができる。 【思考・判断・表現】 思考・判断・表現を駆使して成果物や発表ができて いる。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習活動に参加している。課題に取り組	○	○	○	4

高等学校

令和7年度（3学年用）

教科 公民

科目 政治経済

教科：公民

科目：倫理

単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組

教科担当者：（1組：佐藤）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）

使用教科書：（ 詳述政治・経済(実教出版) ）

教科 公民 の目標：

- 【知識及び技能】政治・経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。
- 【思考力、判断力、表現力等】多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、人間としての在り方生き方についての自覚や、平和のために各国民が協力し合うことについて自覚を深める。

科目 政治経済 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断し、合意形成や社会参画に向かう力を養う。	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・国家の三要素と主権について理解する。 ・道徳や社会規範との違いから多面的・多角的に考察する。 ・歴史的な経過を、社会契約説の展開とともに理解する。 ・自由権と社会権が意味するものについて理解する。”	第1章 民主政治の基本原理	・政治と国家がどのようなものであるかを理解している。 ・法の意義と役割について、道徳などほかの社会規範との対比しながら理解している。 ・私法の基本原理として自由で平等な個人による私的自治の原則があることについて理解している。	○	○	○	5
	・民主政治の意義と課題について理解する。 ・民主主義における意思決定のあり方を中心に理解する。 ・議院内閣制・大統領制をはじめとする各国の政治制度について理解する。	第1章 民主政治の基本原理	”・ファシズムや大衆民主主義、ポピュリズムといった政治手法と特徴について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 ・国民主権と民主主義について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○	○	1
	・二つの憲法の特徴と相違点について理解する。 ・国民主権や立憲主義の観点にも留意させる。 ・日本の安全保障政策の展開について理解する。 ・こんにちの安全保障政策の課題について理解する。	第2章 日本国憲法の基本的性格	・二つの憲法の原理と相違点について理解している。 ・憲法の最高法規性と憲法改正の手続きについて理解している。 ・安全保障について、多面的に考察し、適切に表現している。 ・日本の安全保障のあり方について考察・構想し、それらを適切に表現している。	○	○	○	8
	・日本国憲法が保障する基本的人権について理解する。 ・人権に関する現実社会の課題について理解する。 ・新しい人権について理解する。 ・公共の福祉について理解する。	第2章 日本国憲法の基本的性格	・環境権・知る権利・プライバシーの権利などの新しい人権の内容とそれらの権利が主張されるようになった背景について理解している。 ・社会的権力による人権侵害の課題や人権の国際化の動きについて理解している。 ・各種の判例から、人権を守ろうとする法理がどのように成立したかを適切に読み取っている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○	○	1
2 学 期	・衆参両院の構成と衆議院の優越について理解する。 ・委員会制度や党議拘束などについて理解する。 ・内閣の権限を、憲法の条文に基づいて理解する。 ・官主導社会とその課題について理解する。	第3章 日本の政治機構	・p.58の記述を利用して、政治や行政における公文書の重要性について考察を深めている。 ・政治主導・官邸主導と課題について、p.53「exercise」を利用して、多面的に考察し、適切に表現している。”	○	○	○	5
	・司法権の独立や裁判について理解する。 ・裁判員制度や検察審査会について理解する。 ・地方自治の本旨について理解する。 ・戦後の地方自治の課題や地方分権改革について理解する。”	第3章 日本の政治機構	・地方自治が住民自らの意思と責任の下で行われるものであり、民主政治の基盤をなすものであることについて理解している。 ・自治基本条例の制定や自治立法、住民投票などの新しい地方自治の動きについて理解している。 ・p.65の資料3を通じて、地方財政の課題を適切に読み取っている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○	○	1

1学期	・政党政治の歩みについて確認し理解する。 ・現在の日本の政党政治の特徴と課題について理解する。 ・各選挙制度の特徴について理解する。 ・公職選挙法による規制や政治資金を中心に理解する。	第4章 現代日本の政治	・日本の選挙制度について多面的・多角的に考察を深め、いま生じている課題の解決方法を構想している。 ・議員定数の不均衡について多面的・多角的に考察し、改善の方法について構想している。 ・選挙における民意の反映について、p. 76「exercise」を利用して考察し、適切に表現している。	○	○	○	8
	・マス・メディアやSNSの役割と政治にもたらす影響について理解する。 ・政治参加の課題について理解する	第4章 現代日本の政治	・SNS時代の情報発信のあり方について、p. 78のコラムを利用して多面的・多角的に考察している。 ・よりよい社会の実現のために、政治参加と世論の課題について多面的・多角的に考察、構想したことを社会生活に生かそうとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○	○	1
3学期	・生産と消費、分業と交換の関係について理解する。 ・希少性や機会費用といった経済的な考え方について理解する。 ・資本主義経済が成立、発展してきた時代背景を確認する。 ・政府の規模を念頭にして、経済的な課題への対応を考える。	第1章 経済社会の変容	・資本主義経済の成立以降、経済社会がどのように展開していったか、政府の役割の変化と関連させて考察している。 ・資本主義経済と社会主義経済について、それぞれの課題に関する考察を深めている。 ・資本主義における効率性と公平性について、p. 88のコラム「exercise」を利用して考察し、それらを適切に表現している。	○	○	○	5
	定期考査			○	○	○	1

対象学年組：第 1 学年 1 組

教科担当者：（ 1組：谷野 ）

使用教科書：（ 大修館 現代高等保健体育 ）

教科 保健体育 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】
- 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする
- 【思考力、判断力、表現力等】
- 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】
- 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくりの運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などを理解するとともに、自己の体力や生活に応じた継続的な運動の計画を立て、実生活に役立てることができるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。	公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保することができるようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	球技（ソフトボール） ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	ソフトボール	【知識・技能】 それぞれの技の名称があり、それぞれの技には、技能の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の仕方があることについて、学習した具体例を挙げている。 【思考・判断・表現】 体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに運動を楽しむための調整の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自己や仲間の課題に応じた練習計画を見直すなど、互いに助け合い高め合おうとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。	○	○	○	5
	体づくり運動 ・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立てて取り組むことができるようにする。 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ・体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、話し合いに貢献しようとする、ことなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	体づくり運動	【知識・技能】 運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解している。 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	8
	定期考査						
	ウインドサーフィン ・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的にウインドサーフィン操作できるようにする	ウインドサーフィン	【知識・技能】 ・それぞれの技の名称があり、それぞれの技には、技能の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の仕方があることについて、学習した具体例を挙げている。 【思考・判断・表現】 体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間				

	・ウインドサーフィンの操作技術などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ・ウインドサーフィンに自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、ウインドサーフィンの事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保できるようにする。		・自己や仲間の課題に応じた練習計画を見直すなど、互いに助け合い高め合おうとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。	○	○	○	8
ウインドサーフィン	・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的にウインドサーフィン操作できるようにする ・ウインドサーフィンの操作技術などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ・ウインドサーフィンに自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、ウインドサーフィンの事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保できるようにする。	ウインドサーフィン	【知識・技能】 ・それぞれの技の名称があり、それぞれの技には、技能の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の仕方があることについて、学習した具体例を挙げている。 【思考・判断・表現】 体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに運動を楽しむための調整の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自己や仲間の課題に応じた練習計画を見直すなど、互いに助け合い高め合おうとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。	○	○	○	7
定期考査							
ウインドサーフィン	・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的にウインドサーフィン操作できるようにする ・ウインドサーフィンの操作技術などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ・ウインドサーフィンに自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、ウインドサーフィンの事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保できるようにする。	ウインドサーフィン	【知識・技能】 ・それぞれの技の名称があり、それぞれの技には、技能の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の仕方があることについて、学習した具体例を挙げている。 【思考・判断・表現】 体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに運動を楽しむための調整の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自己や仲間の課題に応じた練習計画を見直すなど、互いに助け合い高め合おうとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。	○	○	○	5
ウインドサーフィン	・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的にウインドサーフィン操作できるようにする	ウインドサーフィン	【知識・技能】 ・それぞれの技の名称があり、それぞれの技には、技能の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の仕方があることについて、学習した具体例を挙げている。 【思考・判断・表現】 体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに運動を楽しむための調整の仕方を見付けている。				

2 学 期		・ウインドサーフィンの操作技術などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ・ウインドサーフィンに自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、ウインドサーフィンの事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保できるようにする。					
	定期考査						
	球技（サッカー）	サッカー	【知識・技能】 それぞれの技の名称があり、それぞれの技には、技能の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の仕方があることについて、学習した具体例を挙げている。 【思考・判断・表現】 体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに運動を楽しむための調整の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自己や仲間の課題に応じた練習計画を見直すなど、互いに助け合い高め合おうとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。	○	○	○	8
	球技（テニス）	卓球	【知識・技能】 それぞれの技の名称があり、それぞれの技には、技能の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の仕方があることについて、学習した具体例を挙げている。 【思考・判断・表現】 体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに運動を楽しむための調整の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】				

	・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする こと、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。		【知識・技能】 自己や仲間の課題に応じた練習計画を見直すなど、互いに助け合い高め合おうとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。	○	○	○	7
	定期考査						
3 学 期	陸上競技（持久走）	持久走	【知識・技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けようとしている。 【思考・判断・表現】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにしている。	○	○	○	5
	陸上競技（持久走）	持久走	【知識・技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けようとしている。 【思考・判断・表現】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにしている。	○	○	○	8
	定期考査						

年間授業計画

高等学校 令和7年度（3 学年用）教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅢ

教 科： 外国語科 目： 英語コミュニケーションⅢ単位数： 3 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組

教科担当者：（1 組：竹田・仙波・中村）

使用教科書：（LANDMARK Fit English Communication3 啓林館）

教科 外国語 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】外国語の音声や表現などの理解を深め、知識を応用し、5 技能を用いて、場面等に応じて活用する技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】外国語で話し手の書き手の意図や考えを理解し、それらを活用して自分の意図や考えを表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的、自立的に外国語を用いてコミュニケーションを図る態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅢ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 「や 」	話 「発 」	書					
1 学 期	〈聞くこと〉野菜の栽培や地域の活動についての会話を聞いて、必要な情報を聞き取り、概要や要点を捉える。 〈読むこと〉イギリスの小さな町の町おこしについて書かれた文章を読んで、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図、概要、要点、詳細を捉える。 〈話すこと [やり取り] 〉野菜・果物の栽培や本文の内容について、情報や考えなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。 〈話すこと [発表・やり取り] 〉関心のある地域の活動について、情報や考えなどを論理的に詳しく話して伝えたり、伝え合ったりする。 〈書くこと〉関心のある地域の活動について、情報や考えなどを、複数のパラグラフから成る文章で論理的に詳しく書いて伝える。	Lesson1 Incredible Edible イギリスの小さな町を有名にした町おこし						「単元の具体的な指導目標」に基づき、音読活動、問題演習、ペア・グループ活動、発表ややり取りなどの実技テスト、定期考査、その他授業内外の取り組みなどを総合的に評価する。	○	○	○	15
	定期考査								○			1
	〈聞くこと〉名前の呼び方や日本におけるポリティカル・コレクトネスについての会話を聞いて、必要な情報を聞き取り、概要や要点を捉える。 〈読むこと〉ポリティカル・コレクトネスについて書かれた文章を読んで、文章の展開や書き手の意図、概要、要点、詳細を捉える。 〈話すこと [やり取り] 〉名前の呼び方や本文の内容について、情報や考えなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。 〈話すこと [発表・やり取り] 〉日本におけるポリティカル・コレクトネスについて、情報や考えなどを論理的に詳しく話して伝えたり、伝え合ったりする。 〈書くこと〉日本におけるポリティカル・コレクトネスについて、情報や考えなどを、複数のパラグラフから成る文章で論理的に詳しく書いて伝える。	Lesson4 Political Correctness 避けられるべき差別的な言葉						「単元の具体的な指導目標」に基づき、音読活動、問題演習、ペア・グループ活動、発表ややり取りなどの実技テスト、定期考査、その他授業内外の取り組みなどを総合的に評価する。	○	○	○	15
	定期考査								○			1

2 学 期	〈聞くこと〉車いす利用者や中途障がい者についての会話を聞いて、必要な情報を聞き取り、概要や要点を捉える。 〈読むこと〉中途障がい者の女性について書かれた文章を読んで必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図、概要、要点、詳細を捉える。 〈話すこと [やり取り] 〉困ったときの親切や本文の内容について、情報や考えなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。 〈話すこと [発表・やり取り] 〉中途障がい者から学んだことについて、情報や考えなどを論理的に詳しく話して伝えたり、伝え合ったりする。 〈書くこと〉中途がい者から学んだことについて、情報や考えなどを、複数のパラグラフから成る文章で論理的に詳しく書いて伝える。	Lesson6 Body Imperfect 病気で両脚を失った女性の新しい生き方																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
-------------	---	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

年間授業計画 様式例

高等学校 令和年7度(3学年用) 教科

科目

教 科： 藝術

科 目： 音樂Ⅲ

單位數： 2 單位

対象学年組：第 3 学年

組～ 組

教科担当者：鈴木友枝

(組 :

(組 :

)

(組：

(組

) (\$

)

使用教科書： tut

教科 音樂 I

の目標： 生徒自身が主体的に、音楽的課題にチャレンジし、確実に習得出来るよう指導する。

【知 識 及 び 技 能】バンドの音楽、校歌、日本音楽、生徒作曲、クラシック音楽、クリスマス音楽、卒業の音楽

【思考力、判断力、表現力等】 声楽、器楽、アンサンブル、作曲、編曲、理論、発表、鑑賞、自己評価、メッセージ

【学びに向かう力、人間性等】出席日数、授業態度、積極的姿勢

科目 0

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
楽器設備が充実してるので、一学期にポピュラーバンド音楽と校歌吹奏楽編曲合奏、二学期に日本の音楽とクラシック音楽とクリスマス音楽、三学期に未来の音楽＝音楽の未来＝卒業課題を、声楽、器楽両方を使用し、取り組む。年間の機会に併せて授業展開をする。	音楽のプリントを活用し、生徒自身が体系的に目標設定、課題設定、分析反省を出来るようにする。主体的に希望する課題や担当を設定し、完成・発表に向けて段階的に取り組む。発表・鑑賞・評価評論を通して自己評価・他者評価を積極的に促す。	主に年間のイベントに合わせた機会音楽に取り組み、器楽、声楽、その他を幅広く体験させる。発表の時間や機会の設定を意識し、課題の完成を目標とする。他者と音楽を共有することによって、生徒一人ひとりの人間的可能性を拡大し、社会化を促す。また、基本的な出席態度も厳格にチェックする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当 時数
			歌	器	創						
1 学期	A 単元 【知識及び技能】 設備品の楽器を使い、グループ一曲バンド曲を演奏する。 【思考力、判断力、表現力等】 自分に合った楽器を担当分担し、一つの楽曲を仕上げることによって、豊かな音楽的体験と共同性を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 一つの作品とは、段階を踏んで取り組み、必ず完成形までもたすことが可能だと学び、生徒の自信を養う。	・指導事項：バンド編成数人1グループによる発表鑑賞評論→ビーデ祭出演（任意） ・教材：デジタル通信、生徒たちが希望するポピュラー楽曲、tutti ・一人1台端末の活用：楽器担当又は歌担当					【知識・技能】 ①課題鑑賞態度 ②課題・役割決定態度 ③練習態度 ④発表態度 ⑤鑑賞態度 【思考・判断・表現】 段階を踏んだ作品への取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	4
	B 単元 【知識及び技能】 合唱 【思考力、判断力、表現力等】 自己紹介と、感受性の共有 【学びに向かう力、人間性等】 生徒の学校生活の向上	・指導事項：校歌斉唱 ・教材：小笠原高等学校校歌 ・一人1台端末の活用：合唱、伴奏ピアノ					【知識・技能】 ①課題鑑賞態度 ②課題・役割決定態度 ③練習態度 ④発表態度 ⑤鑑賞態度 【思考・判断・表現】 段階を踏んだ作品完成への取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 段階を踏んだ作品への取り組みへの積極性、集中力	○	○	○	4
	定期考査：中間テスト無し	中間テスト無し	○	○			中間テスト無し	○	○	○	0
	D 単元 【知識及び技能】 取り組む課題の概要を生徒が主体的に調べる、発表する、反省・評論する 【思考力、判断力、表現力等】 プリントの記入項目に沿って調べ	・指導事項：プリント課題 ・教材：プリント類 ・一人1台端末の活用：プリント、鉛筆					【知識・技能】 今回取り組む・取り組んだ事に関する記述容量 【思考・判断・表現】 今回取り組む・取り組んだ事に関する記述内容 【主体的に学習に取り組む態度】				

2 学 期		る、発表する、反省・評論する 【学びに向かう力、人間性等】 次の課題の形成につなげる						提出期限、記入内容	○	○	○	3
		定期考査：プリント類記述、提出	プリント類					プリント類記述、提出、期日	○	○	○	0
	A 単元	【知識及び技能】 楽器演奏、校歌演奏 【思考力、判断力、表現力等】 楽器の取り扱い方の習得、指揮付き大編成の合奏能力の習得、 【学びに向かう力、人間性等】 大編成合奏を通して、機会音楽を体験し、共同精神を養う。	・指導事項：高1～3年合同運動会の、機会音楽 ・教材：校歌ブラスバンド編曲（講師編曲） ・一人1台端末の活用：楽器	○	○	○	○	【知識・技能】 校歌の暗譜、楽器演奏、オーケストラ譜読譜能力、指揮見能力の習得 【思考・判断・表現】 校歌の暗譜、楽器演奏、オーケストラ譜読譜能力、指揮見能力の段階的な練習→完成 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の役割への積極的な参加。運動会という目的に合わせた機械的参加態度。	○	○	○	2
	B単元	【知識及び技能】 日本音楽と和楽器の鑑賞、作曲、演奏体験 【思考力、判断力、表現力等】 ・日本音楽の鑑賞、評論、・詩歌に基づく自作曲、自編曲の体験、演奏 【学びに向かう力、人間性等】 鑑賞を通して具体的に評論する態度を学ぶ。表題を通して段階的に制作する態度を学ぶ。	・指導事項：日本音楽の鑑賞、一人一曲詩歌を基にした作曲編曲及び発表 ・教材：教科書の日本音楽、小笠原を題材にした諸エッセイ ・一人一台端末の使用：学校設備楽器（和楽器）、歌唱					【知識・技能】 日本音楽を鑑賞、評論する。日本音楽の特徴をつかんだ後、小笠原を題材にした詩歌から生徒一人一作選択し、作曲編曲をし、学級で発表する。 【思考・判断・表現】 日本音楽及び民族音楽の特徴を学ぶ。鑑賞評論の態度を学ぶ。作曲編曲の方法を学ぶ。 【主体的に学習に取り組む態度】 民族的アイデンティティに対する興味、関心を養う。段取りを組んで取り組むことによって、完成させることが出来る体験を確認する。	○	○	○	3
	C単元	【知識及び技能】 合唱、声楽、古典クラシック音楽 【思考力、判断力、表現力等】 典型的な合唱の目標とともに、古典クラシック音楽の演習、第二外国語の演習をする。 【学びに向かう力、人間性等】 古典的クラシック音楽とともに、第二外国語への謙虚な学習態度を養う。学期末のクリスマスにも備え、キリスト教精神にも触れる機会とする。	・指導事項：鑑賞と合唱 ・教材：tuttiより例 L. V. BEETHOVEN第九交響曲より「歓喜の歌」op125、J. S. BACHクリスマスオラトリオより「まぶえのかたえに」bwv248 ・一人一台端末の使用：声楽					【知識・技能】 ①第二外国語の読解、②読譜、③初見、④声楽、⑤合唱 【思考・判断・表現】 ①～⑤の、段階を踏んだ作品完成への取り組み方 【主体的に学習に取り組む態度】 ①～⑤段階を踏んだ作品への取り組みへの積極性、集中力	○	○	○	1
	C単元	【知識及び技能】 クリスマス音楽の演奏 【思考力、判断力、表現力等】 クリスマスのイベントに併せて、主体的に決定した課題に取り組む。 【学びに向かう力、人間性等】 クリスマスのイベントに併せて、主体的に決定した課題に取り組む。	・指導事項：鑑賞と演奏 ・教材：tutti等 ・一人一台端末の使用：自由					【知識・技能】 生徒が選択したスタイル・ジャンルの曲と演奏 【思考・判断・表現】 生徒自身の自主選択、練習、発表、完成 【主体的に学習に取り組む態度】 自主的なジャンル、曲目、演奏スタイルの選択と練習・発表態度	○	○	○	2

	定期考査：プリント類記述、提出	プリント類		プリント類記述、提出、期日	○	○	○	0
3 学 期	A単元 【知識及び技能】 合唱 【思考力、判断力、表現力等】 一年間及び三年間で身に着けた経験を、合唱活動にまとめ上げ、聴き手へとメッセージを届ける。 【学びに向かう力、人間性等】 一、二、三年間の学習を反省し、消化する機会とする。	・指導事項：進級、卒業に向けた先輩後輩へのメッセージ ・1、2年から3年へ・3年から1，2年へ・教材：代表的な卒業歌より学級で選択 ・一人一台端末の使用：声楽、伴奏、楽器等任意	○ ○ ○ ○	【知識・技能】声楽、器楽 【思考・判断・表現】読譜、パート演習、全体合唱、メッセージ 【主体的に学習に取り組む態度】 メッセージ性を意識し、自主的に楽曲の選択、編成、パート担当の選択をして、演奏発表し、対象者にメッセージを届ける。	○	○	○	2
	定期考査：音楽学習プリント記述、提出			プリント類記述、提出、期日	○	○	○	0
								合計
								21

年間授業計画 様式例

高等学校 令和年7度(3学年用) 教科

科目

教 科： 藝術

科 目： 音楽の世界

單位數： 2 單位

対象学年組：第 3 学年

組～ 組

教科担当者：鈴木友枝

(組 :

(組 :)

(組 :

(組 :

(組 :)

使用教科書： tut

教科 音樂 I

の目標： 生徒自身が主体的に、音楽的課題にチャレンジし、確実に習得出来るよう指導する。

【知 識 及 び 技 能】バンドの音楽、校歌、日本音楽、生徒作曲、クラシック音楽、クリスマス音楽、卒業の音楽

【思考力、判断力、表現力等】声楽、器楽、アンサンブル、作曲、編曲、理論、発表、鑑賞、自己評価、メッセージ

【学びに向かう力、人間性等】出席日数、授業態度、積極的姿勢

科目 0

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
楽器設備が充実してるので、一学期にポピュラーバンド音楽と校歌吹奏楽編曲合奏、二学期に日本の音楽とクラシック音楽とクリスマス音楽、三学期に未来の音楽＝音楽の未来＝卒業課題を、声楽、器楽両方を使用し、取り組む。年間の機会に併せて授業展開をする。	音楽のプリントを活用し、生徒自身が体系的に目標設定、課題設定、分析反省を出来るようにする。主体的に希望する課題や担当を設定し、完成・発表に向けて段階的に取り組む。発表・鑑賞・評価評論を通して自己評価・他者評価を積極的に促す。	主に年間のイベントに合わせた機会音楽に取り組み、器楽、声楽、その他を幅広く体験させる。発表の時間や機会の設定を意識し、課題の完成を目標とする。他者と音楽を共有することによって、生徒一人ひとりの人間的可能性を拡大し、社会化を促す。また、基本的な出席態度も厳格にチェックする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当 時数
			歌	器	創						
1 学期	A 単元 【知識及び技能】 設備品の楽器を使い、グループ曲バンド曲を演奏する。 【思考力、判断力、表現力等】 自分に合った楽器を担当分担し、一つの楽曲を仕上げることによって、豊かな音楽的体験と共同性を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 一つの作品とは、段階を踏んで取り組めば、必ず完成形までもたすことが可能だと学び、生徒の自信を養う。	・指導事項：バンド編成数人1グループによる発表鑑賞評論→ビーデ祭出演（任意） ・教材：デジタル通信、生徒たちが希望するポピュラー楽曲、tutti ・一人1台端末の活用：楽器担当又は歌担当	○	○	○	【知識・技能】 ①課題鑑賞態度 ②課題・役割決定態度 ③練習態度 ④発表態度 ⑤鑑賞態度 【思考・判断・表現】 段階を踏んだ作品への取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 演奏曲目と楽器の選択から開始し、バンドの編成、演奏、発表、再び自身や他者が演奏発表した曲の鑑賞、ビーデ祭出演への積極性、以上を段取りとする。	○	○	○	4	
	B 単元 【知識及び技能】 合唱 【思考力、判断力、表現力等】 自己紹介と、感受性の共有 【学びに向かう力、人間性等】 生徒の学校生活の向上	・指導事項：校歌斉唱 ・教材：小笠原高等学校校歌 ・一人1台端末の活用：合唱、伴奏ピアノ				【知識・技能】 ①課題鑑賞態度 ②課題・役割決定態度 ③練習態度 ④発表態度 ⑤鑑賞態度 【思考・判断・表現】 段階を踏んだ作品完成への取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 段階を踏んだ作品への取り組みへの積極性、集聚力	○	○	○	4	
	定期考査：中間テスト無し	中間テスト無し				中間テスト無し	○	○	○	0	
	D 単元 【知識及び技能】 取り組む課題の概要を生徒が主体的に調べる、発表する、反省・評論する 【思考力、判断力、表現力等】 プリントの記入項目に沿って調べ	・指導事項：プリント課題 ・教材：プリント類 ・一人1台端末の活用：プリント、鉛筆				【知識・技能】 今回取り組む・取り組んだ事に関する記述容量 【思考・判断・表現】 今回取り組む・取り組んだ事に関する記述内容 【主体的に学習に取り組む態度】					

2 学 期		る、発表する、反省・評論する 【学びに向かう力、人間性等】 次の課題の形成につなげる						提出期限、記入内容					4
		定期考査：プリント類記述、提出	プリント類					プリント類記述、提出、期日					0
		A 単元 【知識及び技能】 楽器演奏、校歌演奏 【思考力、判断力、表現力等】 楽器の取り扱い方の習得、指揮付き大編成の合奏能力の習得、 【学びに向かう力、人間性等】大編成合奏を通して、機会音楽を体験し、共同精神を養う。	・指導事項：高1～3年合同運動会の、機会音楽 ・教材：校歌ブラスバンド編曲（講師編曲） ・一人1台端末の活用：楽器					【知識・技能】 校歌の暗譜、楽器演奏、オーケストラ譜読譜能力、指揮見能力の習得 【思考・判断・表現】 校歌の暗譜、楽器演奏、オーケストラ譜読譜能力、指揮見能力の段階的な練習→完成 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の役割への積極的な参加。運動会という目的に合わせた機械的参加態度。					3
		B単元 【知識及び技能】日本音楽と和楽器の鑑賞、作曲、演奏体験 【思考力、判断力、表現力等】・日本音楽の鑑賞、評論、・詩歌に基づく自作曲、自編曲の体験、演奏 【学びに向かう力、人間性等】 鑑賞を通して具体的に評論する態度を学ぶ。表題を通して段階的に制作する態度を学ぶ。	・指導事項：日本音楽の鑑賞、一人一曲詩歌を基にした作曲編曲及び発表 ・教材：教科書の日本音楽、小笠原を題材にした諸エッセイ ・一人一台端末の使用：学校設備楽器（和楽器）、歌唱					【知識・技能】 日本音楽を鑑賞、評論する。日本音楽の特徴をつかんだ後、小笠原を題材にした詩歌から生徒一人一作選択し、作曲編曲をし、学級で発表する。 【思考・判断・表現】 日本音楽及び民族音楽の特徴を学ぶ。鑑賞評論の態度を学ぶ。作曲編曲の方法を学ぶ。 【主体的に学習に取り組む態度】 民族的アイデンティティに対する興味、関心を養う。段取りを組んで取り組むことによって、完成させることが出来る体験を確認する。					4
		C単元 【知識及び技能】 合唱、声楽、古典クラシック音楽 【思考力、判断力、表現力等】 典型的な合唱の目標とともに、古典クラシック音楽の演習、第二外国語の演習をする。 【学びに向かう力、人間性等】 古典的クラシック音楽とともに、第二外国語への謙虚な学習態度を養う。学期末のクリスマスにも備え、キリスト教精神にも触れる機会とする。	・指導事項：鑑賞と合唱 ・教材：tuttiより例 L. V. BEETHOVEN第九交響曲より「歓喜の歌」op125、J. S. BACHクリスマスオラトリオより「まぶえのかたえに」bwv248 ・一人一台端末の使用：声楽	○	○	○	○	【知識・技能】 ①第二外国語の読解、②読譜、③初見、④声楽、⑤合唱 【思考・判断・表現】 ①～⑤の、段階を踏んだ作品完成への取り組み方 【主体的に学習に取り組む態度】 ①～⑤段階を踏んだ作品への取り組みへの積極性、集中力					4
		C単元 【知識及び技能】 クリスマス音楽の演奏 【思考力、判断力、表現力等】 クリスマスのイベントに併せて、主体的に決定した課題に取り組む。 【学びに向かう力、人間性等】 クリスマスのイベントに併せて、主体的に決定した課題に取り組む。	・指導事項：鑑賞と演奏 ・教材：tutti等 ・一人一台端末の使用：自由					【知識・技能】 生徒が選択したスタイル・ジャンルの曲と演奏 【思考・判断・表現】 生徒自身の自主選択、練習、発表、完成 【主体的に学習に取り組む態度】 自主的なジャンル、曲目、演奏スタイルの選択と練習・発表態度					3

	定期考査：プリント類記述、提出	プリント類		プリント類記述、提出、期日	○	○	○	0
3 学 期	A単元 【知識及び技能】 合唱 【思考力、判断力、表現力等】 一年間及び三年間で身に着けた経験を、合唱活動にまとめ上げ、聴き手へとメッセージを届ける。 【学びに向かう力、人間性等】 一、二、三年間の学習を反省し、消化する機会とする。	・指導事項：進級、卒業に向けた先輩後輩へのメッセージ ・1、2年から3年へ・3年から1，2年へ・教材：代表的な卒業歌より学級で選択 ・一人一台端末の使用：声楽、伴奏、楽器等任意	○ ○ ○ ○	【知識・技能】声楽、器楽 【思考・判断・表現】読譜、パート演習、全体合唱、メッセージ 【主体的に学習に取り組む態度】 メッセージ性を意識し、自主的に楽曲の選択、編成、パート担当の選択をして、演奏発表し、対象者にメッセージを届ける。	○	○	○	3
	定期考査：音楽学習プリント記述、提出			プリント類記述、提出、期日	○	○	○	0
								合計
								29

年間授業計画

高等学校 令和 7 年度（3 学年用）教科 芸術 科目 美術Ⅲ

单位数： 2 单位

組

教科担当者：（1組：荒岡裕子）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）

使用教科書：（ 光村図書出版「美術3」 ）

の目標：

【知 識 及 び 技 能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を追求し、個性を生かして創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、独創的な表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性を生かして発想し構想を練ったり、自己の価値観を働かせて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を磨き、美術文化を尊重し、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現				鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			絵 ・ 彫	デ	映							
1 学 期	題材「ポートフォリオ」（Aデザイン・B鑑賞） 【知・技】造形的な視点により表す 【思考力、判断力、表現力等】美術の働きを考え、意図に沿って表現する 【学びに向かう力、人間性等】自信と美術の関り確かめ、心豊かな生活や社会に結び付く態度を確認する	・WEBと紙冊子の両方を制作することにより、メディアの違いにより適する表現が変わることを学ぶ ・インフォメーションデザインと、エディトリアルデザインについて学ぶ ・3年間の制作を振り返り、自分の表現の傾向をつかむ		○	○	○	知＝授業で得た知識を活用している 技＝意図に応じて用具の特性を生かしている 発＝造形的な考え、見方や感じ方を深めている 鑑＝鑑賞を通じて見方や感じ方を深めている 態表＝表現の創造活動に取り組んでいる 態鑑＝鑑賞の創造活動に取り組んでいる	○	○	○	7	
	題材「鉛筆デッサン」（A絵画） 【知・技】造形的な視点を理解する 【思考力、判断力、表現力等】美術の働きについて実践して学ぶ 【学びに向かう力、人間性等】主体的に創造的な活動に取り組み、自身の感性と美意識を磨く	・専門技術の基礎に取り組み、細かな表現の工夫を習得する ・題材に対する造形的な視点や美術文化について考えを深め、美術の働きを尊重する態度を養う。	○				知＝授業で得た知識を活用している 技＝意図に応じて用具の特性を生かしている 発＝造形的な考え、見方や感じ方を深めている 鑑＝鑑賞を通じて見方や感じ方を深めている 態表＝表現の創造活動に取り組んでいる 態鑑＝鑑賞の創造活動に取り組んでいる	○	○	○	7	
	題材「教科書鑑賞」（B鑑賞） 【知・技】対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深める 【思考力、判断力、表現力等】美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりする 【学びに向かう力、人間性等】美術文化を尊重し、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。	・教科書の様々な作品に触れながら、ディスカッションを通じて、自分の見方や感じ方を深める。 ・美術Ⅰ・Ⅱで学んだ経験と結びつけて、理解を深める。	○			○	知＝授業で得た知識を活用している 技＝意図に応じて用具の特性を生かしている 発＝造形的な考え、見方や感じ方を深めている 鑑＝鑑賞を通じて見方や感じ方を深めている 態表＝表現の創造活動に取り組んでいる 態鑑＝鑑賞の創造活動に取り組んでいる	○	○	○	7	
	題材「透視図法」（A絵画） 【知・技】造形的な視点と表現方法を習得する 【思考力、判断力、表現力等】美術や美術文化に対する見方や感じ方を深める 【学びに向かう力、人間性等】主体的に美術の創造的な諸活動に取り組む	・造形的な視点と表現を支える透視図法について、演習と実践を通じて習得する	○				知＝授業で得た知識を活用している 技＝意図に応じて用具の特性を生かしている 発＝造形的な考え、見方や感じ方を深めている 鑑＝鑑賞を通じて見方や感じ方を深めている 態表＝表現の創造活動に取り組んでいる 態鑑＝鑑賞の創造活動に取り組んでいる	○	○	○	7	

2 学 期	題材「明度分割による細密描写B」 (Aデザイン・B鑑賞) 【知・技】造形的な視点を理解する 【思考力、判断力、表現力等】美術の働きについて実践して学ぶ 【学びに向かう力、人間性等】主体的に創造的な活動に取り組み、自身の感性と美意識を磨く	・専門技術の基礎に取り組み、細かな表現の工夫を習得する ・題材に対する造形的な視点や美術文化について考えを深め、美術の働きを尊重する態度を養う。		○		○	知＝授業で得た知識を活用している 技＝意図に応じて用具の特性を生かしている 発＝造形的な考え、見方や感じ方を深めている 鑑＝鑑賞を通じて見方や感じ方を深めている 態表＝表現の創造活動に取り組んでいる 態鑑＝鑑賞の創造活動に取り組んでいる	○	○	○	7
	題材「明度分割による細密描写C」 (Aデザイン・B鑑賞) 【知・技】造形的な視点を理解する 【思考力、判断力、表現力等】美術の働きについて実践して学ぶ 【学びに向かう力、人間性等】主体的に創造的な活動に取り組み、自身の感性と美意識を磨く	・専門技術の基礎に取り組み、細かな表現の工夫を習得する ・題材に対する造形的な視点や美術文化について考えを深め、美術の働きを尊重する態度を養う。		○		○	知＝授業で得た知識を活用している 技＝意図に応じて用具の特性を生かしている 発＝造形的な考え、見方や感じ方を深めている 鑑＝鑑賞を通じて見方や感じ方を深めている 態表＝表現の創造活動に取り組んでいる 態鑑＝鑑賞の創造活動に取り組んでいる	○	○	○	7
3 学 期	題材「con anima～絵に魂を吹き込む」 (A映像メディア表現・B鑑賞) 【知・技】アニメーションの造形的な視点を学び、表現方法を探求する 【思考力、判断力、表現力等】個性を生かした主題を生み出す 【学びに向かう力、人間性等】誰でも発表できるメディアを扱い、生涯にわたり美術を発信する姿勢を築く	・様々なアニメーションの表現方法を知る ・構想を練り、ふさわしい表現方法を探求する ・美術の社会に及ぼす影響を学び、想像する責任を考える	○	○	○	○	知＝授業で得た知識を活用している 技＝意図に応じて用具の特性を生かしている 発＝造形的な考え、見方や感じ方を深めている 鑑＝鑑賞を通じて見方や感じ方を深めている 態表＝表現の創造活動に取り組んでいる 態鑑＝鑑賞の創造活動に取り組んでいる	○	○	○	7
	題材「教科書鑑賞」(B鑑賞) 【知・技】対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深める 【思考力、判断力、表現力等】美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりする 【学びに向かう力、人間性等】美術文化を尊重し、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。	・教科書の様々な作品に触れながら、ディスカッションを通じて、自分の見方や感じ方を深める。 ・美術Ⅰ・Ⅱで学んだ経験と結びつけて、理解を深める。	○	○	○	○	知＝授業で得た知識を活用している 技＝意図に応じて用具の特性を生かしている 発＝造形的な考え、見方や感じ方を深めている 鑑＝鑑賞を通じて見方や感じ方を深めている 態表＝表現の創造活動に取り組んでいる 態鑑＝鑑賞の創造活動に取り組んでいる	○	○	○	7
											合計
											56

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 芸術 科目 美術の世界

教 科： 芸術 科 目： 美術の世界 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 組

教科担当者：（1組：荒岡裕子） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ）

使用教科書：（ 光村図書出版「美術1」 ）

- 教科 芸術 の目標：
- 【知 識 及 び 技 能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う

科目 美術の世界 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を追求し、個性を生かして創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、独創的な表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性を生かして発想し構想を練ったり、自己の価値観を働かせて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を磨き、美術文化を尊重し、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			絵・彫	デ	映						
1 学 期	題材「島の生命を美しく構成する」（A絵画・B鑑賞） 【知・技】事象を捉える造形的な視点を持ち、個性豊かに表す【思考力、判断力、表現力等】美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練る 【学びに向かう力、人間性等】感性と美意識を高め、美術文化に親しむ	・画材の特徴について理解し、主題にふさわしい表現法を選択できる ・自己を深く見つめ感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成する ・表現形式について考え、個性豊かで創造的な表現の構想を練る ・教科書の関連する項目を鑑賞する	○	○		○	知＝授業で得た知識を活用している 技＝意図に応じて用具の特性を生かしている 発＝造形的な考え、見方や感じ方を深めている 鑑＝鑑賞を通じて見方や感じ方を深めている 態表＝表現の創造活動に取り組んでいる 態鑑＝鑑賞の創造活動に取り組んでいる	○	○	○	7
	題材「島の生命を美しく構成する」（A絵画・B鑑賞） 【知・技】事象を捉える造形的な視点を持ち、個性豊かに表す【思考力、判断力、表現力等】美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練る 【学びに向かう力、人間性等】感性と美意識を高め、美術文化に親しむ	・画材の特徴について理解し、主題にふさわしい表現法を選択できる ・自己を深く見つめ感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成する ・表現形式について考え、個性豊かで創造的な表現の構想を練る ・教科書の関連する項目を鑑賞する	○	○		○	知＝授業で得た知識を活用している 技＝意図に応じて用具の特性を生かしている 発＝造形的な考え、見方や感じ方を深めている 鑑＝鑑賞を通じて見方や感じ方を深めている 態表＝表現の創造活動に取り組んでいる 態鑑＝鑑賞の創造活動に取り組んでいる	○	○	○	7
	題材「島の生命を美しく構成する」（A絵画・B鑑賞） 【知・技】事象を捉える造形的な視点を持ち、個性豊かに表す【思考力、判断力、表現力等】美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練る 【学びに向かう力、人間性等】感性と美意識を高め、美術文化に親しむ	・画材の特徴について理解し、主題にふさわしい表現法を選択できる ・自己を深く見つめ感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成する ・表現形式について考え、個性豊かで創造的な表現の構想を練る ・教科書の関連する項目を鑑賞する	○	○		○	知＝授業で得た知識を活用している 技＝意図に応じて用具の特性を生かしている 発＝造形的な考え、見方や感じ方を深めている 鑑＝鑑賞を通じて見方や感じ方を深めている 態表＝表現の創造活動に取り組んでいる 態鑑＝鑑賞の創造活動に取り組んでいる	○	○	○	7
	題材「島の顔料」（A絵画・B鑑賞） 【知・技】造形的な視点で絵の具・顔料を知る 【思考力、判断力、表現力等】島の色彩を自分の手で生み出し、創造に活用する 【学びに向かう力、人間性等】生活の場に潜む顔料を見つけ、生涯にわたり美術を愛好する心情を育む	・絵の具・顔料の知識を活用して、自分だけの島の色を探す ・教室の外の身近な場所での美的体験により、心豊かな生活を創造していく態度を養う	○			○	知＝授業で得た知識を活用している 技＝意図に応じて用具の特性を生かしている 発＝造形的な考え、見方や感じ方を深めている 鑑＝鑑賞を通じて見方や感じ方を深めている 態表＝表現の創造活動に取り組んでいる 態鑑＝鑑賞の創造活動に取り組んでいる	○	○	○	7
	題材「明度分割による細密描写A」（A絵画・B鑑賞） 【知・技】造形的な視点を理解する 【思考力、判断力、表現力等】美術の働きについて実践して学ぶ 【学びに向かう力、人間性等】主	・主題を通して、自己の価値観を振り返り、美術に対する見方・考え方を深める ・専門技術の基礎に取り組み、細かな表現の工夫を習得する ・題材に対する造形的な視点や美術文化について考えを深め、美術	○			○	知＝授業で得た知識を活用している 技＝意図に応じて用具の特性を生かしている 発＝造形的な考え、見方や感じ方を深めている 鑑＝鑑賞を通じて見方や感じ方を深めている 態表＝表現の創造活動に取り組んでいる 態鑑＝鑑賞の創造活動に取り組んでいる	○	○	○	7

2 学 期	体的に創造的な活動に取り組み、自身の感性と美意識を磨く	の働きを尊重する態度を養う。											
	題材「感じに形を与える」(A彫刻・Aデザイン・B鑑賞) 【知・技】対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深める 【思考力、判断力、表現力等】造形的なよさや美しさを味わい、個性豊かに発想し構想を練る【学びに向かう力、人間性等】主体的に美術の創造的な諸活動に取り組む	・自然や自己を深く見つめ感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成する ・教科書の関連する項目を鑑賞する	○	○		○	知＝授業で得た知識を活用している 技＝意図に応じて用具の特性を生かしている 発＝造形的な考え、見方や感じ方を深めている 鑑＝鑑賞を通じて見方や感じ方を深めている 態表＝表現の創造活動に取り組んでいる 態鑑＝鑑賞の創造活動に取り組んでいる	○	○	○	7		
3 学 期	題材「感じに形を与える」(A彫刻・Aデザイン・B鑑賞) 【知・技】個性豊かで創造的に表すことができる【思考力、判断力、表現力等】自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深める【学びに向かう力、人間性等】心豊かな生活を創造していく態度を養う	・主題に合った表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表す ・制作を振り返り説明することで鑑賞を深める ・教科書の関連する項目を鑑賞する	○	○		○	知＝授業で得た知識を活用している 技＝意図に応じて用具の特性を生かしている 発＝造形的な考え、見方や感じ方を深めている 鑑＝鑑賞を通じて見方や感じ方を深めている 態表＝表現の創造活動に取り組んでいる 態鑑＝鑑賞の創造活動に取り組んでいる	○	○	○	7		
	題材「教科書鑑賞」(B鑑賞) 【知・技】対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深める 【思考力、判断力、表現力等】美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりする 【学びに向かう力、人間性等】美術文化を尊重し、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。	・教科書の様々な作品に触れながら、ディスカッションを通じて、自分の見方や感じ方を深める。 ・美術Ⅰ・Ⅱで学んだ経験と結びつけて、理解を深める。	○	○	○	○	知＝授業で得た知識を活用している 技＝意図に応じて用具の特性を生かしている 発＝造形的な考え、見方や感じ方を深めている 鑑＝鑑賞を通じて見方や感じ方を深めている 態表＝表現の創造活動に取り組んでいる 態鑑＝鑑賞の創造活動に取り組んでいる	○	○	○	7		
												合計	
											56		

高等学校 令和7年度（3 学年用）教科 家庭科 科目 家庭総合

教 科： 家庭科科 目： 家庭総合単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年組～ 組

教科担当者：1組：ミヤ スルターンムハンマド（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）

使用教科書：（ 家庭総合 実教出版 Life Dsign 実教出版 ）

教科 家庭科 の目標：

【知識及び技能】人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会の関わりについて理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに関わる技術を身につけようとする。

【思考力、判断力、表現力等】家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家族、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目 家庭総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭の意識、家族・家庭と社会とのかかわりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭・衣食住、消費や環境などについて理解するとともに、それらに関わる技術を身につけていく。	生涯を見通して、家族や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけていく。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	子どもの生活と保育 【知識及び技能】 ・子どもの誕生、子どもの心身の発達と特徴について理解する。 ・子どもは、親や保育者などの身近な大人とのかかわりあいの中で発達していくことを理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・子どもの食生活・衣生活、遊びについて理解を深め考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・親子関係の課題を理解し、解決に向けてできることを考えることができる。	・子どもの世界 ・育つ子ども ・子どもとのかかわる ・子どもの育ちを支える	【知識・技能】 子どもの心身の発達や子どもの生活についての知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 子どもの心身の発達、現在の子どもの取り巻く状況や子育ての環境について、課題を見つけ、解決への考えをまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 子どもをとりまく状況について、現状を知り、その課題を見つけ、解決に向けて考えようとしている。 子どもの生活やとりまく環境、また、現在の子育ての環境や地域社会や国の支援策や課題などについて、情報を収集し、まとめることができる。	○	○	○	10
	高齢者との関わりと福祉 【知識及び技能】 ・高齢社会の現状を知り、身近な問題としてとらえる 【思考力、判断力、表現力等】 ・高齢者と家族とのかかわり、経済、社会での活躍などを知り、高齢者における生活の課題について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・高齢者施設での利用者の過ごし方、どんな人が働いているかについてまとめ介護をめぐる課題の解決にはどのようなことが必要か考えることができる。	・さまざまな高齢期 ・高齢者の尊厳と自立 ・高齢者の生活と福祉 ・高齢者の生活を支える	【知識・技能】 高齢社会の現状や高齢者の心身の特徴について理解している 【思考・判断・表現】 高齢社会の課題やその解決に向けて、新聞記事などを収集分析し、自分の考えをまとめることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 高齢社会の現状、高齢者の心身の特徴や生活について積極的に知り、高齢者とかわろうとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
2 学 期	共生社会を生きる 【知識及び技能】 ・人の一生と社会福祉とのかかわりをイメージすることで、「福祉」の意味について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・社会保障制度のしくみを踏まえて将来に向けての課題を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ボランティア活動や地域社会でのさまざまな活動の意義について考えることができる。	・誰もが普通に生活する ・社会保障制度や社会福祉 ・支えあう社会の大切さとボランティア活動	【知識・技能】 ・社会福祉の意味、現在の社会福祉の状況、社会保障制度のしくみについて理解できる。 【思考・判断・表現】 ・生涯を通しての社会福祉・社会保障のしくみや地域での支えあいのしくみについて意欲的に理解しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・支えあう社会とは何かを主体的に考え、社会福祉についての考えをまとめることができる。また、社会において自分のできることは何かを導き出すことができ、それを支えあいの活動などの実践に生かすことができる				10
	食生活の科学と文化 【知識及び技能】 ・自身の食事から食品ごとに含まれる栄養素を学び、バランスの良い食事について考える。 ・食品の調理上の特性を知り、適切な調理を考える。	・日本の食生活の今 ・食の科学と健康 ・美味しさと安全の科学 ・さあ料理を始めよう ・料理の組み合わせを考えよう ・多様な食文化 ・持続可能な食生活	【知識・技能】 ・各地の気候風土や宗教による食生活の違いについて理解するとともに、日本の食文化の特徴について理解できている。 ・食事の意義や役割について、食文化や食生活をとりまく環境から理解できる。 【思考・判断・表現】				

	【思考力、判断力、表現力等】 ・環境に配慮した食生活（食品ロス等）について考察する。 ・日本の食料自給率の現状と課題について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・情報に惑わされることなく安全な食品を選択できるようになる。 ・食の安全と環境に配慮した食生活を送ることができるようになる。		【思考力、判断力、表現力等】 ・食事の意義や役割について、食文化や食生活を取りまく環境から理解できる。 ・食品に関する科学的な知識や調理の技術を身につけ、それを実際の食生活に生かすことができる。 【主体的に学ぶ態度】 ・栄養・食品・調理に関する基礎的な知識を生かしながら、家族の献立を作成することができる。 ・調理実習を通して、日常の食事づくりに必要な調理技術を身につけ、献立作成から後かたづけまでの一連の流れを計画し実践できる			16
	定期考査			○	○	1
3 学 期	住生活の科学と文化 【知識及び技能】 ・日本の住まいの変遷、生活様式などを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・快適な室内環境について、日照・採光、通風・換気、騒音、冷暖房などの要素を考察する 【学びに向かう力、人間性等】 ・まちの課題について自分なりに解決策を考えることで、一市民としてまちづくりに参画する姿勢を持つことができるようになる。	・人間と住まい ・健康で快適、安全な住まい ・持続可能な住生活	【知識・技能】 ・住居の機能や気候・風土とのかかわりに関心を持ち、各地の気候・風土に適した住まいを理解している。 ・日本の住まいの歴史や、日本の住まい方の特徴について理解できる。 【思考・判断・表現】 ・家族構成やライフステージなどのかかわりから、平面図を読み取ることができる。 ・住まいの文化や機能・役割、またライフステージや家族構成などと住まいの関係について理解している。 【主体的に学ぶ態度】 ・日照・日射・採光・照明、通気・換気、冷暖房など、健康的な住まい環境における基本的な知識が理解できる。また、住まいの清掃やメンテナンスについても理解し、快適な生活につなげることができる。 ・安全な住まいづくりや、快適な住環境のためにどのような課題があるのか見つけることができ、その課題解決のための方策を考えることができる。 ・暮らしやすい住まいについて、住空間だけでなく、周りの環境とも関係していることをレポートなどを通して表現できる。			6
						合計
						54